

研究の位置づけと概略



厚生労働省健康局健康課
栄養指導室

厚生労働科学研究等(栄養関係)の実施状況

【厚生労働科学研究費補助金】

□ 食事摂取基準を用いた食生活改善に資するエビデンスの構築に関する研究

事業名	研究代表者	所属施設	職名
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究事業)	佐々木 敏	国立大学法人 東京大学大学院	教授

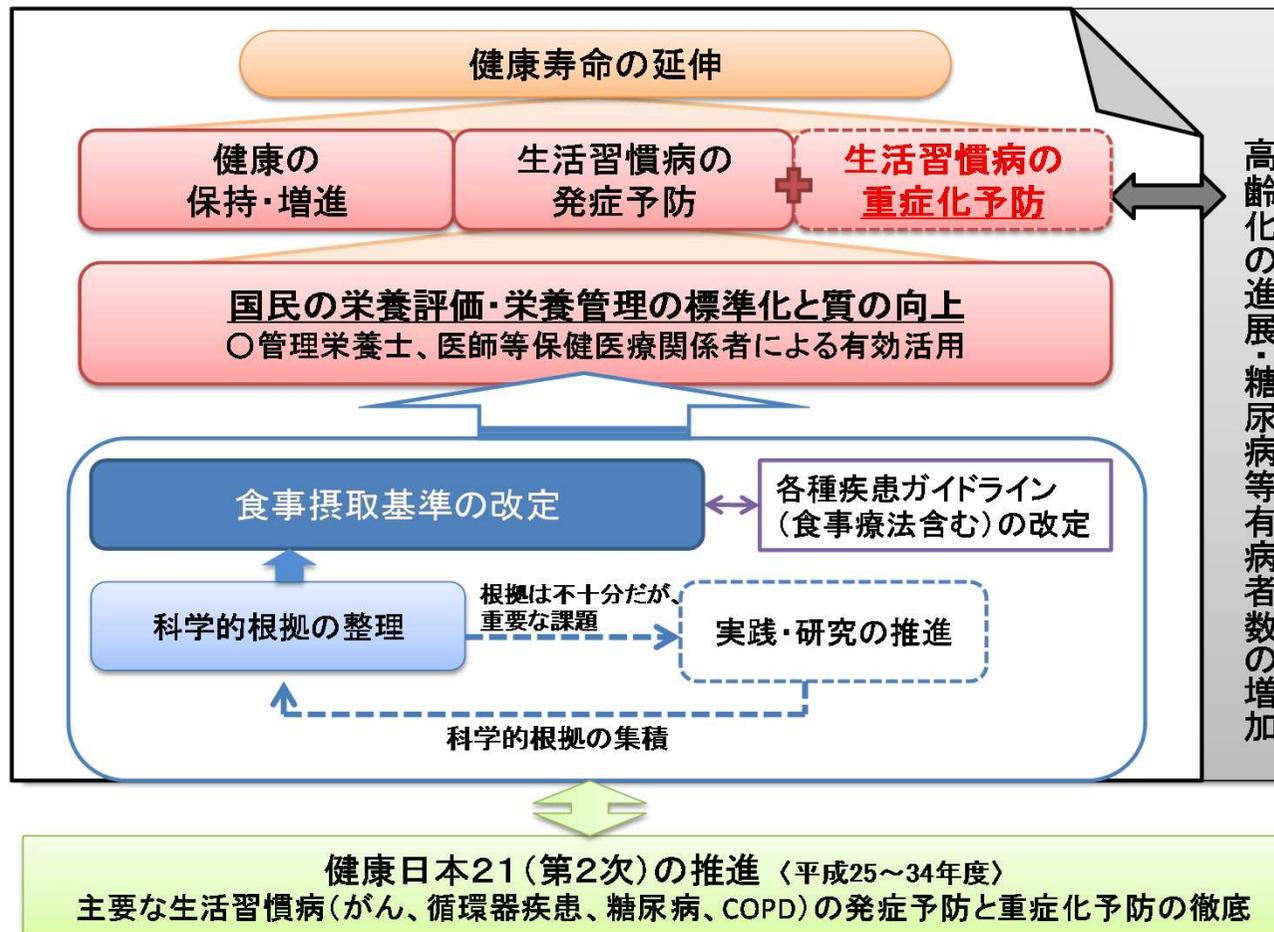
- 健康増進・栄養政策の推進における国民健康・栄養調査の活用手法の開発
- 小中学生の食行動の社会格差是正に向けた政策提案型研究

【日本医療研究開発機構 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業】

- 健康寿命延伸のための日本人の健康な食事のあり方に関する研究
- 生活習慣病予防や高齢者の身体機能維持のためのエネルギーバランスに関する指標の開発並びに栄養素の摂取上限量に関するデータベースの開発に資する研究 など

食事摂取基準（2015年版）策定の方向性

- 健康の保持・増進、生活習慣病の発症予防とともに、重症化予防も視野に入れ、策定を行った。このため、関連する各種疾患ガイドラインとも調和を図ることとした。
- 科学的根拠に基づく策定を行うことを基本とし、現時点で根拠は十分ではないが、重要な課題については、研究課題の整理も行うこととした。



日本人の食事摂取基準（2015年版）策定の方向性

<日本人の食事摂取基準>

有効な政策・対策

成果

食事摂取基準で示されたエネルギー・栄養素の摂取基準を個人の食生活改善に効果的に用いるため、発育・発達において極めて重要な時期である学童・生徒について栄養疫学的に質の高いデザインでの栄養・食事評価を行い、効果的な食事改善を行う手法の開発に資する

学童・生徒の栄養素等摂取量並びにその生活関連要因に関する資料の充実

科学的根拠の集積

基準・指針の策定

実践

基準・指針の活用

実態把握

計画

実施

改善

検証